

## 呑川レポート2012-号外2号

「大田区立郷土博物館」でおなじみの北村 敏さんから、貴重なご案内が寄せられました。

「呑川」に落ちた「逆川」(六郷用水の分流)の遺構を見る、最初にして最後のチャンスです。  
どうぞ、こぞってご覧ください。

(9/20 の現地集合場所は、判らない方も多いと思いますので、いずれ  
「六郷用水の会」の会員の方から連絡があると思います)

---

(呑川の会) 高橋 光夫

---

以下、北村さんからのメール転送です。

---

◆現在、蒲田駅東口歩 3 分・蒲田 5 丁目 21 番先の旧逆川(さかさがわ)通り  
(約 120m)で、大田区役所により電線類地中化工事が行われています。

◆この区間は、かつて蒲田駅西からの六郷用水御園堀の延長線水路で、  
JR 構内を抜け、現大田区役所の正門位置からアプリコ前庭の松竹橋を通り、  
呑川に落ちた「六郷用水の分流」でした。水吐けが悪く「逆川(さかさがわ)」と  
呼ばれたのでしょうか。

◆ここには大口径下水道管渠の多摩川幹線が地中深く完成、  
大正時代に農業用水から都市排水路となっていた逆川は不要溝渠として  
40 年ほど前に、コンクリート三面張構造そのまま埋設され「逆川通り」に  
変身しました。

◆電線類地中化工事はその逆川の歴史的な地中擁壁を部分的に  
取り除きながら進行しています。  
40 年ぶりに顔を出した逆川ですが、交通を妨げないよう極めて狭い  
開口穴倉工事のため気付きにくく、ガードパイプと安全警備にも  
遮られ近づくことも出来ません。

◆そして何より残念なのは、地中化工事が終えるこの 10 月末以降は  
再び地中に埋め戻され半永久的にその姿を目視することが出来なくなるのです。

◆そこで、担当している区役所建設工事課(監督員・谷田川泰:Tel5764-0720)と請負事業所では9月20日(木)13:00(多少ずれ込むかもしれませんが)から2時間ほど「電線類地中化工事」と、黙して語らぬ地域史の証である「六郷用水・逆川」の現地説明見学会を開催します。

◆当日は、六郷用水の会会員作成の「逆川って何」「六郷用水って何」という吊るしパネルもお目見えます。

◆申し込み不要、時間に現地集合、それだけです。  
穴ぼこに落ちない軽快な足元・服装をお願いします。荒天で無い限り雨天でも決行です。

北村 敏(大田区立郷土博物館職員・六郷用水の会会員)